**令和2年度　第1回　多職種研修会アンケート調査結果**

開催日　令和3年1月26日（火）

アンケート対象者　40名　　回答者数　23名（回収率57.0%）

テーマ　「病院地域連携室との連携の仕方」

**１．病院地域連携室（相談室）への相談の仕方について参考になりましたか**  　　　　 （人）



（人）

 1 参考になった 14

参考になった

 2 まあまあ参考になった 　　9

 3 どちらともいえない 0

 4 あまり参考にならなかった 0

 5 参考にならなかった 0

**２．研修会について**

　（人）

参加して良かった

参加してまあまあ良かった

 1 参加して良かった 15

 2 参加してまあまあ良かった 8

 3 どちらともいえない 0

 4 少し物足りなかった 0

 5 物足りなかった 0

**３．感想（自由記載）**

・連携室・相談室の方と、画面越しではありますが、顔の見える関係つくりができて活用しやすくなった

と思います。とても良い企画でした。山田先生とも会えて良かったです。ご準備お疲れ様でした。

・地域連携室になんでも相談してくださいという話が聞けて安心しました。入所・ショートの依頼時に看

取りの段階であれば教えてほしいです。すぐに亡くなり、職員がショックを受ける事もあったので…　その

為、事前に対応を検討する必要があると考えています。

・連携相手を理解する事から始めていきたいと感じました。更に多職種連携を図りながら実践していきた

いです。

・各地域連携室のパネリスト方々の説明を聴講させていただき安心して相談できると思いました。また、

これからも連携して市民のニーズに応えていけるように支援していきたいと思いました。大変学習になりま

した。

・コロナ禍において、様々な研修・会議が中止される中、このような形で開催し、意見交換の機会を与え

てくださった事に感謝いたします。オンライン会議だと緊張感もなく参加者の本音が聞きやすいのではない

かと感じました。定期的にこのような形で開催し担当者レベルでの課題を浮き彫りにすることで、意見が活

発になり、お互いに共有しやすくなるのではないかと思いますので、簡単な意見交換の場として、開催する

と良いのではないかと思います。

・地域連携室を知る機会を持てたことが重要だと思いました。医療と介護の見方や考え方は相違があって

も、対象者にとってよい方法を検討していく上では、情報の共有など大事です。対象者を知る上で参考にな

ると思われる情報は発信しています。書面のみではなく、口頭で伝えることも必要ではないかと思います。

医療と介護で支援していくのが理想なのでこれからも、良い方法を提案できるようにします。

・連携室の体制や業務内容とケアマネージャーに求められていることが分かりました。入院時情報提供は

患者家族の連絡先や他病院の通院状況、介護認定期間等の他にＡＤＬ，認知症、家族の関係性の詳細につい

ても伝え、相談しあいながら、地域住民の利益を考えていきたいです。パネリストの方々より、遠慮せず相

談してほしいとあり、ありがたく感じると同時に、自分自身の知識向上も必要だと思いました。

・看取りに対しての考え方は、施設内でもケアマネ・看護師・介護職それぞれの視点で意見が割れることもあります。今後困った時は病院の連携室へ相談し、助言を求めていきたいと思います。認知症の方や精神科受診でも勉強になりました。「夜寝ないから」「不穏行動があるから」との理由で薬の処方を求めてくる介助員がいます。私は「貴方たちはどういう対応をしましたか」と聞いても「大変だから」という返答しかないこともあります。認知症のある方に対しての、何かしらの行動に対して「私たちがどういう対応をしたのか」が大事なのですが、理解してもらえないことも多いです。施設内での介護の質を高めなくてはと感じています。入院時の連携では、施設内で使用しているアセスメントシートを提供しても良いのではと思います

今回の研修に参加して「もっと気楽に相談して良いのか」という気持ちが持てました。疑問点や相談したいことがあれば問い合わせていきたいと思います。

・「つながるシート」を活用し、入院時は各医療機関へ提出していましたが、「情報提供書」の提出を求められることが殆どでした。私の活用も間違いだったのも理解しましたが、よりよい方向性で活用していければと思いました。「看取りに関しての意識・知識等のおり合わせ」に対して介護スタッフと共に勉強・研修は行っていますが、違いを現場においても感じますので、ご意見は十分にわかりますし、必要だと感じています。医療機関からも研修を開催していくのはいかがでしょうか？是非ともお願いします。

・Zoomでの研修に不慣れで積極的な意見交換ができませんでした。ＡＣＰ→入院してからの意思確認ができないことが多いため、早い段階で意思表示ができれば良いと思います。例えば入居時にその説明があり、しっかりした意思表示であれば救急搬送時に提示することで、本人の希望ではない延命処置がされないのではと考えています。各施設のＡＣＰの取り組みを知りたいです。

・つながるシートは耳にしたことはあるが、実際には活用したことがない。内容が盛りだくさんで、見る側も、書く側も大変そうに思えた。この研修会のお知らせはどの範囲まで承達しているのか。因みに私は関連する部署から聞きましたが…ケアマネだけでなく、いろんな職種との連携があると思います。

・つがる総合…入院時の情報提供書はながれも周知されており、やり取りしやすい白生会・増田・布施病院…入院時情報は提出しているが病院からも病名や入院期間のＦＡＸ等の返信があれば助かります。入院時に情報提供書と「つながるシート」の2つを提出するのは手間がかかり大変だと思います。普段から使用している（例えばフェースシート）だとすぐにできます。白生会の原田さんがおっしゃっていたように、今後は

もう1歩踏み込んだディスカッションができればと良いと思いました。

・各病院の地域連携室の実情を知ることができ、良い機会でした。自分自身の連携する際の歩み寄りが足りていないと思っています。研修で得たことを活かし、積極的に連携を取り、利用者の支援につなげたいと思いました。

・Zoomでの研修は不慣れで、操作も戸惑うことが多かったです。入退院時には小さな事でも報告して情報の共有をしたいと思います。お疲れ様でした。

・病院ごとの地域連携室の役割を知る事ができたため連携をとる際の参考になった。今回の研修で地域連携室の多忙さ、病院内だけでなく地域に帰ってからの生活も考えられている事で今以上に連携を取りやすくなると感じました。しかし、退院調整の際、半ば強引にケースを引き継いだ事や、地域連携室が担うべき役割を行ってきた（介護申請やアセスメント）部分も感じているので居宅や包括の役割を双方が理解する場や再度確認・話し合いの場があれば良い地域づくりをしていけるのでないかと感じました。

・＂最近ご飯を食べない″等、具体的な相談が分かり、こういう事を相談しても良いんだと参考になりました。医療と介護の意識の違いについて、自分たちの医療面での知識不足が大きいと思います。何がわからないかもわかっていない時があり、普段の受診でも診察前に看護師さんが、細かく聞いてくれて助かっています。

・連携室への相談方法と体制が分かりました。連携する際のツールがどうあるべきかも考えさせられ今後の連携の参考になりました。病院側の率直な意見が聞けて良かったです。実際の連携の場面を振り返ってのディスカッションをする機会があると良いと思います。

・受診や入院に関して地域連携室にはお世話になっております。なかなか聞きにくいこともあり、もやもやした状態になっていることもありましたが、今回の研修に参加させて頂き連携を図っていく上、どんどん聞いていこうと思いました。

・慣れないオンライン方式の研修でしたが、参加して良かったです。今回は「病院地域連携室との連携の仕方」というテーマでしたが、次回は「施設との連携の仕方」というスタンスで行うのも面白いかと思いました。

・地域連携室と関わるのは殆どなかったのですが、＂こんなこと？″と思うような事でも聞いてくださいというお言葉、自分の中でも一線を越える機会となり、大きな収穫となりました。ありがとうございました。パネリストからもお話があった看取りについて積極的に多職種連携が進んでいけば、1人暮らしの利用者が在宅で最後まで過ごしたいという選択肢が増えていくのかと心強く思います。

・地域連携室の役割についてもっとたくさんの方に知ってもらえれば連携もスムーズになるのではないかと思いました。

・初めてのZoomミーティングで緊張しました。4名のパネラーの方々にお話を伺い、徐々に内容に入っていくことができました。気軽に相談していける体制が整っていることに安堵しています。入退院時の支援、通院等のコロナ禍でご本人様と直接対面できず、状態を把握するのは医療・介護共に大切なことだと痛感しております。布施病院の渡辺様のお話で、薬で全て解決できるものではないというお話は、そのとおりだと思います。ご本人、ご家族様のご要望を伺い、支援していきたいと思います。

・入院と同時に各病院宛、情報提供を行っていますが、受けとる側を考慮した記載を心がけていこうと思います。山田先生のアドバイスは先を明るく照らし、やる気を導いてくださる言葉と参加できて良かったと思っています。患者（利用者）を中心にこれからを考えての取り組みについて病院側から見て考える機会を得ました。お忙しい業務の中の準備に頭が下がりました。ありがとうございました。

感想のテキスト分析から、「連携」、「地域」、「病院」、「研修」、「入院」、「介護」という単語の出現が多く認められた。地域連携室との意見交換に関する記述からは、ケアマネージャーに求められていることや自分自身の知識の向上が必要だと感じたという参加者の振り返りの場になっていたようである。

一方、病院地域連携室の役割や実情を知り、相談して良いことや方法について知る意見交換の場として前向きな発言が多く聞かれた。しかしながら、「情報提供書」、「つながるシート」の活用状況については、あまりつながるシートの活用がなされていないことから、シートの課題をさらに分析し、修正していく必要があることが明らかとなった。